

(様式 1 - 3)

巨理町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 11 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	48	事業名	災害公営住宅家賃低廉化事業		事業番号	D-5-1
交付団体		巨理町	事業実施主体 (直接/間接)		巨理町 (直接)	
総交付対象事業費		451,614 (千円)	全体事業費		2,390,196 (千円)	
事業概要						
災害公営住宅入居者に対し、居住の安定確保を図るため、家賃の低廉化を行うもの。 整備予定戸数：477 戸 今回申請対象：429 戸 (平成 27 年度分) ○平成 26 年度 入居開始戸数：180 戸 うち対象戸数：156 戸 ○平成 27 年度 入居開始戸数：297 戸 うち対象戸数：273 戸 ○合算 (参考) 入居開始戸数：477 戸 うち対象戸数：429 戸						
<b>巨理町震災復興計画</b> 該当箇所：P28-29 住環境の再建への支援 概要：災害公営住宅整備事業						
当面の事業概要						
<平成 26 年度> 家賃の低廉化 (対象戸数 156 戸) <平成 27~32 年度> 家賃の低廉化 (対象戸数 429 戸 (前年度比：+273 戸))						
東日本大震災の被害との関係						
東日本大震災により住宅再建が困難となった住民に対し、災害公営住宅を整備し、その家賃を低廉化することで、居住の安定確保が図られる。						
関連する災害復旧事業の概要						

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1 - 3)

巨理町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 11 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	49	事業名	東日本大震災特別家賃低減事業		事業番号	D-6-1
交付団体		巨理町	事業実施主体 (直接/間接)		巨理町 (直接)	
総交付対象事業費		60,268 (千円)	全体事業費		308,324 (千円)	
事業概要						
災害公営住宅入居者のうち、特に収入の低い世帯に対し、居住の安定確保を図るため、入居者が無理なく負担しうる水準まで家賃を低減するもの。 整備予定戸数：477 戸 今回申請対象：344 戸 (平成 27 年度分) ○平成 26 年度 入居開始戸数：180 戸 うち対象戸数：126 戸 ○平成 27 年度 入居開始戸数：297 戸 うち対象戸数：218 戸 ○合算 (参考) 入居開始戸数：477 戸 うち対象戸数：344 戸						
巨理町震災復興計画						
該当箇所：P28-29 住環境の再建への支援 概要：災害公営住宅整備事業						
当面の事業概要						
＜平成 26 年度＞ 家賃の低減 (対象戸数 126 戸) ＜平成 27～32 年度＞ 家賃の低減 (対象戸数 344 戸 (前年度比：+218 戸))						
東日本大震災の被害との関係						
東日本大震災により住宅再建が困難となった住民に対し、災害公営住宅を整備し、特に収入の低い世帯を対象にその家賃を低減することで、居住の安定確保が図られる。						
関連する災害復旧事業の概要						

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1 - 3)

巨理町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 11 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	52	事業名	水産業共同利用施設復興整備事業（放置艇収容施設）	事業番号	C-7-3
交付団体	巨理町		事業実施主体（直接/間接）	巨理町（直接）	
総交付対象事業費	25,000（千円）		全体事業費	363,000（千円）	
<b>事業概要</b>					
<p>巨理町の漁業の復旧・復興を図るため、津波により被災した放置艇収容施設の復旧整備を行う。</p> <p>当該施設は、プレジャーボートの利用者の増加に伴い、荒浜漁港内で無秩序な係留が散見されるようになり、漁業者が円滑に漁業を営むうえでの支障となっていたため、漁船・プレジャーボート各々の係留箇所を確保することで、漁港内の安全確保と利用の効率化を図ることを目的とし、水産庁漁港漁村活性化対策事業により整備した施設である。</p> <p>大津波により、当該施設の棧橋のみならず、係留されていたプレジャーボート自体も全て流失した。ボートを再取得した利用者の多くは、荒浜漁港が復旧の途上であるため、町外施設や自宅敷地を暫定的な置き場所としている。</p> <p>今回、岸壁、荷捌所等の漁港施設の災害復旧の進捗に伴い、プレジャーボート利用者の回帰が見込まれるため、当該施設を復旧整備することで、被災前同様、漁船・プレジャーボートの棲み分けを明確化し、荒浜漁港内の安全確保及び利用の効率化を図り、漁港機能の円滑な復旧・復興に資するもの。</p>					
<b>巨理町震災復興計画</b>					
該当箇所：P35 2) 水産業の復興					
P38 4) 観光業の復興・新たな観光の創出 荒浜漁港フィッシャリーナ施設復旧事業					
<b>当面の事業概要</b>					
平成 26 年度					
調査・設計委託					
平成 27 年度					
工事					
<b>東日本大震災の被害との関係</b>					
<p>東日本大震災の津波被害により、当該施設の棧橋は係船杭の一部を残し流失した（被害額約 2 億 8 千万円）。</p> <p>係留されていたプレジャーボートも同じく流失したが、利用者の意向状況から、従前と同等程度の利用が見込まれている。</p> <p>当該施設の復旧は、被災前同様、漁船・プレジャーボートの棲み分けを明確化し、荒浜漁港内の安全確保及び利用の効率化を図り、漁港機能の円滑な復旧・復興を実現するうえで必要不可欠である。</p>					
<b>関連する災害復旧事業の概要</b>					
・荒浜漁港災害復旧事業：平成 23 年度～平成 27 年度					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
<b>関連する基幹事業</b>					
事業番号					
事業名					
交付団体					
<b>基幹事業との関連性</b>					

(様式 1 - 3)

巨理町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 11 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	53	事業名	災害公営住宅関連道路整備事業		事業番号	◆D-4-1-3
交付団体		巨理町	事業実施主体 (直接/間接)		巨理町 (直接)	
総交付対象事業費		353,193 (千円)	全体事業費		353,193 (千円)	
事業概要						
<p>巨理町では東日本大震災により住居を失われた方が入居するための災害公営住宅(集合形式)を巨理下茨田地区に125戸整備する予定である。下茨田住宅は安全安心に配慮した団地内道路として、地区東側の町道狐塚線と南側の町道中町江下線の2方向に動線を確保する設計となっている。</p> <p>東側の町道狐塚線(W=6.6m)は整備済みであるが、南側の町道中町江下線(W=6.0m)のうち、下茨田住宅に隣接する橋梁部の有効幅員が2.2mと非常に狭隘であり、歩行者と車両の行き違いもかなわず、危険な状態である。また、災害公営住宅整備による交通量の増加に加え、当該町道沿いに造成される防災集団移転先団地(巨理江下団地)の完成による交通量の増加も見込まれるなか、当該町道は巨理小学校への通学路となっており、児童も含め入居者の安全確保のため早急に拡幅整備が必要である。</p> <p>また、全線が幅員6mで整備されることにより、通学路のみならず、JR巨理駅及び周辺生活利便施設への安全な動線が確保され、災害公営住宅入居者の生活環境の向上に資する。</p>						
<b>巨理町震災復興計画</b>						
該当箇所：P28-29 住環境の再建への支援						
概 要：災害公営住宅整備事業						
当面の事業概要						
<平成26年度>						
工事						
<平成27年度>						
工事						
東日本大震災の被害との関係						
・震災により、広域にわたり家屋が被災し、住宅再建が困難な住民が多く発生した。						
*全壊家屋数2,465棟、約5,000人						
・町の復興のためには、住宅再建が困難な住民に対し、生活の基盤となる住宅の再建が喫緊に必要である						
関連する災害復旧事業の概要						
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。						
関連する基幹事業						
事業番号	D-4-1					
事業名	災害公営住宅整備事業					
交付団体	巨理町					
基幹事業との関連性						
災害公営住宅(下茨田住宅)建設地に隣接する狭隘な橋梁を本事業により拡幅整備することで、入居者の安全確保及び生活環境の向上が図られる。						

(様式 1 - 3)

巨理町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 11 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	54	事業名	荒浜雨水ポンプ場吐出槽改良事業	事業番号	D-21-3
交付団体	巨理町	事業実施主体 (直接/間接)	巨理町 (直接)		
総交付対象事業費	10,000 (千円)	全体事業費	60,000 (千円)		
事業概要					
<p>東日本大震災による広域的な地盤沈下及び阿武隈川河川堤防の嵩上げ復旧に伴う荒浜雨水ポンプ場吐出槽の改良事業。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>吐出槽嵩上げ 1.4m</li></ul> <p>当町北東部に位置する荒浜漁港海岸は仙台湾南部海岸に属し、被災前堤防高が T.P. 6.2m であったところ、復旧にあたっては高潮による設定高として T.P. 7.2m に嵩上げする計画である。また、荒浜雨水ポンプ場の前面に位置する阿武隈川河川堤防河口部の復旧についても、同じく高潮による設定高とし、海岸堤防高と同じ T.P. 7.2m で復旧する計画となっている。</p> <p>一方で、荒浜雨水ポンプ場吐出槽については、震災により生じたクラック等の補修を行った程度であり、上端の高さは被災前よりも地盤沈下相当分低い T.P. 5.88m となっており、復旧後の河川堤防高よりも低く、逆転状態となっている。</p> <p>よって、高潮発生による吐出槽内の水位上昇時、高さの不足により槽内の水が溢れだし、雨水の排水ができず、浸水被害が拡大する事態が想定されるため、吐出槽の嵩上げ整備が必要となるもの。</p>					
<b>巨理町震災復興計画</b>					
該当箇所：P22, 24 (防災社会基盤づくりと道路網の整備) (公共交通とライフラインの整備)					
当面の事業概要					
＜平成 26 年度＞ 設計					
＜平成 27 年度＞ 工事					
東日本大震災の被害との関係					
東日本大震災による広域的な地盤沈下及び阿武隈川河川堤防の嵩上げ復旧に伴い、荒浜雨水ポンプ場吐出槽の嵩上げが早急に必要となるもの。					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	